

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	日本史
科目基礎情報					
科目番号	0028	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教養	対象学年	3		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	高校日本史B (山川出版社) / 写真資料集: 日本史のアーカイブ (とうほう)				
担当教員	甚川 正美				
到達目標					
1. 古代から現代にいたる我が国の歴史について基礎的知識を身につけて説明できる。 2. 過去のいろいろな出来事に関する歴史資料を理解し、時間の流れに即して因果関係を説明できる。 3. 世界史的視野に立って我が国の歴史の展開を考察することで、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身に付けられる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベル (可)		
到達目標1	古代から現代に至る我が国の歴史の基礎的知識について、詳細に説明できる。	古代から現代に至る我が国の歴史の基礎的知識について、その概要を説明できる。	古代から現代に至る我が国の歴史の基礎的知識について、一定程度の説明ができる。		
到達目標2	日本の歴史上の出来事について、関連する資料を用いて詳細に説明できる。	日本の歴史上の出来事について、関連する資料を用いて概要を説明できる。	日本の歴史上の出来事について、関連する資料を用いて主要な点を説明できる。		
到達目標3	国際社会に生きる日本人としての自覚について、歴史の展開に即して詳細に説明できる。	国際社会に生きる日本人としての自覚について、歴史の展開に即して説明できる。	国際社会に生きる日本人としての自覚について、歴史を考慮しながら説明できる。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	日本史を学ぶことによって、わが国の伝統や文化を理解し、国際社会に生きる日本人としての資質を養う。				
授業の進め方・方法	講義形式の授業で、日本の諸地域における歴史の流れについて、教科書を用いて考察する。また、日本文化の特色・人々の生活・都市の形成・地域同士の交流などに着目し、歴史資料を通して理解を深める。				
注意点	教科書に加えて、通常授業では歴史資料集や学習プリント等を使用する。また、ノート提出も予定しているので、「講義をしっかりと聴き、ノートをしっかりとること」を心がけてほしい。 参考書: 争点 日本の歴史 (1~6) (新人物往来社)				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。(旧石器時代~平安中期)	
		2週	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。(旧石器時代~平安中期)	
		3週	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。(旧石器時代~平安中期)	
		4週	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。(旧石器時代~平安中期)	
		5週	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。(旧石器時代~平安中期)	
		6週	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。(平安後期~室町)	
		7週	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。(平安後期~室町)	
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。(平安後期~室町)	
		10週	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。(平安後期~室町)	
		11週	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。(平安後期~室町)	
		12週	近世 (1)	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。(安土・桃山~江戸初期)	
		13週	近世 (1)	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。(安土・桃山~江戸初期)	
		14週	近世 (1)	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。(安土・桃山~江戸初期)	
		15週	近世 (1)	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。(安土・桃山~江戸初期)	
		16週	期末試験答案返却時間		
後期	3rdQ	1週	近世 (2)	幕藩体制の展開や動揺の様相について理解し説明できる。(江戸中期~後期)	
		2週	近世 (2)	幕藩体制の展開や動揺の様相について理解し説明できる。(江戸中期~後期)	
		3週	近世 (2)	幕藩体制の展開や動揺の様相について理解し説明できる。(江戸中期~後期)	
		4週	近代 (1)	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。(幕末~明治)	
		5週	近代 (1)	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。(幕末~明治)	

4thQ	6週	近代 (1)	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。 (幕末～明治)
	7週	近代 (1)	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。 (幕末～明治)
	8週	中間試験	
	9週	近代 (2)	近代日本とアジアの関係について理解し説明できる。 (大正～戦前昭和)
	10週	近代 (2)	近代日本とアジアの関係について理解し説明できる。 (大正～戦前昭和)
	11週	近代 (2)	近代日本とアジアの関係について理解し説明できる。 (大正～戦前昭和)
	12週	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 (戦後昭和～平成)
	13週	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 (戦後昭和～平成)
	14週	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 (戦後昭和～平成)
	15週	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 (戦後昭和～平成)
16週	期末試験答案返却時間		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	

評価割合

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	80	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0